



令和2年度 函館市自主防災リーダー養成研修

(初級コース)

昭和43年 十勝沖地震

函館大学校舎 損壊



講師 自己紹介

名前 高野 正悟 (たかの しょうご) 55歳

出身 函館市

主な資格

北海道地域防災マスター (防災士)

中高保健体育教員免許 (北海道教育大学 函館校H18卒)

救急標準課程 (約1万件の救急出場経験)

職業 函館市北消防署 (副署長) 勤務 S60~

1. H12 有珠山噴火 北海道広域消防相互応援協定


2. H23 東日本大震災（石巻市） 緊急消防援助隊

**これらの経験から、行政に出来ること、出来ないこと
これを住民の皆さんに正しく理解していただき、
災害時の良きパートナーをたくさん養成することが、
災害発生後の減災（防災）につながると考えました。**

これまでの災害との関わりと 防災に関わろうとしたきっかけ







講義

「地域での取り組み実現化に向けて」

目 的

災害時に被災した皆さんや地域のために活動をしてくださる皆さんに普段からできること、企画できることを話をさせていただいて、地域の防災リーダーとして一歩前に進むきっかけにさせていただければと考えています。

みなさんにお聞きします

防災・減災についての「地域での取り組み」って

何？

北海道内各地の取組

地域防災訓練（R1.9）

民間企業主催
帯広市

親子で防災訓練



1日防災学校

R1.9

小学生
避難所運営学
ぶ
ドクターヘリも



上士幌めかびら源泉郷地区

孤立想定避難訓練 H29.5

町会(町)
警察・自衛隊
消防



清水町 自主防災組織独自防災訓練 R1. 11

自主防災組織
意識向上



知内町 豪雨教訓 防災訓練 H29.9

過去の教訓



自治体職員もスキルアップが必要

令和2年9月25日 函館市避難所開設訓練



大分ではこんな取組も・・・

◎ 自主防災組織に「押しかけ隊」＝訓練定着へ直接支援—大分県

18/11/21 07:30 KP012

大分県は、自主防災組織の訓練に際し、計画段階から実施まで直接支援する新たな事業を始める。おおむね過去3年間訓練していない自主防災組織に「訓練押しかけ支援隊」を派遣。地域での訓練企画から実施、その後の改善点の抽出までを包括的に支援し、防災訓練の定着を目指す。

県によれば、県内に約3500ある自主防災組織などのうち、年1回の防災訓練を実施しているのは2017年時点で約50%にとどまる。これまで「災害の経験がなく訓練のノウハウがない地域や

「訓練押しかけ隊」

者や防災士らでつくる支援隊を組織単位や校区単位で派遣する。

支援隊はまず、地域の防災対策の課題を把握し、訓練の重要性を「学習会」で共に確認。その後演習として、整理した防災の課題解決策と必要な訓練を盛り込んだ計画を作る。訓練後は、計画の改善と次の訓練計画作りをサポートする。

県は11月から来年3月まで支援隊の第1陣を派遣。来年度以降も派遣することで、来年度には訓練実施組織の割合を9割まで向上させたい考え。県防災企画課の担当者は「まずは災害経験が少ない地域に訓練を定着させたい」と話している。（了）

まとめ

防災訓練は、市町村や都道府県、国が主体で実施するだけでない。

主催者（主宰者）には、誰でもなれる・・・

地域の誰かがやったほうが、
より地域性のある防災訓練ができるはず。

（それが、地域での取組みの1例です。）

今日は、皆さんに、**その一歩を踏み出してもらおう日です。**



自


他

共

助

互

公



自助：有事に備えて、自分で、家族で、
防災（減災）に取り組むことです。



自

もうひとつ、私見ですが・・・

救われる人にならない力（知識，行動）のある人

他助：実は、最近、使われなくなりました・・・

自らの力（知識）で、

他人や他の家族などを助ける（防災・減災）こと、
その力を身につけるため取り組むこと

他

※他助のプロ 消防 警察 自衛隊 海上保安庁

共助：一般的には・・・


「近隣で互いに助け合う」ですが・・・

助けを求める人を，同等の力（知識・意識）のある者同志（士）で助けること



共

互助：災害に遭った者同士が、
それぞれの課題をお互いの力
(知識・経験・条件) を合わせて (持ち寄り)
解決し助け合うこと



互

公助：市役所や消防，警察，自衛隊，海上保安庁などの
救助活動や支援物資の提供など，公的機関の支援

公助には，瞬間的なものと，
継続的なものがあります・・・。



公

こんな「助」も意識したいですね。 石碑・言い伝え

「高き住居（すまい）は、
此处（ここ）より下に家を
東日本大震災の後、に
岩手県宮古市の姉吉（あ
典型的なリアス式海岸に
明治三陸大津波と、昭和8
それぞれ壊滅的な被害に
生き残った人々は、この
険を警告する「大津浪記
の震災では集落内での犠
その意義に一躍注目が集



。
の

な高台上に移転させ、危
戒めを守った結果、今回
さが実証されたとして、

ここで、

次の写真をごらんください。
















東日本大震災

宮城県石巻市（女川）の被害状況の写真でした。

津波の恐ろしさが、わかっていただけと思います。



ところで、函館市が被災地でなくても、
避難所を開設することがあると思いますか？

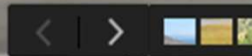
長万部町ファミリースポーツセンター


過去に、被災地でないのに、
この体育館が避難所にな
ったことがあります

平成12年 有珠山噴火 です。



Google





もしかしたら、函館近郊で災害が発生したら、
避難される方のために、
函館市内に避難所が開設されるかも・・・

地域の取組の実現化に向けて

- ① まずは、向い3軒、両隣 いざという時のための近所づきあいを始めてみる。（朝夕のあいさつ、雪かきを一緒に・・・）
- ② 近隣の皆さんと、普段のおつきあいの輪を広げてみる。（バーベキューやホームパーティーなど）
- ③ 町会活動（新年会・運動会）などに参加してみる。

小さなコミュニティーができれば、ミニ防災訓練を企画、地域の皆さんで、実施してみる。

このような自力で防災訓練ができるコミュニティーが広がっていくことが地域防災力の向上につながる。（地域の取組の実現化）

これからは、地域が主体的に
防災活動をしていく時代です



「地域での取り組み実現化に向けて」

ありがとうございました。